

発行元 宮城県仙台第一高等学校 2 学年学術研究委員会

ポスター発表の様子



1 年生や本校の先生のみならず、SSH 運営指導委員の先生、TA の方々、文部科学省や全国の高等学校の先生方など、多くの人に発表する機会となりました。発表者は、約 1 年の研究活動を通して自分たちの研究テーマへの理解を深め、その研究成果を落ち着いて堂々と伝えていました。また、見学者は研究についてよく理解しようと努め、多くの班で活発な質疑応答が行われました。さらに、SSH 運営指導委員の先生方をはじめとする多くの方からアドバイスをいただき、研究の改善点が見つかりました。

SSH 運営指導委員長の講評

「今回は素晴らしいポスター発表をありがとうございました。開会式で皆さんは、SSH 運営指導委員より、「上手に途方に暮れてください」という言葉をいただいたと思います。上手に途方に暮れることで発表はより考えられ、洗練されたものとなります。皆さんがやっているのは研究ですから正解はありません。今回の発表で見つかった研究の改善点を踏まえてぜひ上手に途方に暮れてください。そしてその途方に暮れた過程を私たちにを見せてください。次回の発表も期待しています。」(SSH 運営指導委員長 鈴木陽一教授)



生徒の感想

- 2 年生の発表を見て、これから自分が 1 年間をかけて目指すことが分かった。(1 年)
- 自分が聴衆として参加して、適切に質問することの難しさを実感した。(1 年)
- ポスターの構成で気になる点や参考にできる点、発表時のいい点・悪い点を観察できたので、これからの自分の研究に生かしたい。(1 年)
- 2 年生は難しい研究を、簡潔で大まかに分かりやすく伝えていたので、その技術を自分も身につけたいと思った。(1 年)
- 質問に対して素早く適切に答えている先輩方の姿をみて、研究に対する理解度の高さを実感し、見習いたいと思った。(1 年)
- 聴衆が多かっただけに、今まで考えもしなかった視点の違う疑問・質問をぶつけてもらい、よりよい研究にするためのヒントを得ることができた。(2 年)

- 自分達の研究をまとめ上げること、それを事前知識の少ない聴衆に伝えることの難しさを実感した。また、他の様々な面白い発表を見ることができ、研究方法など参考になる点が多かった。(2年)
- 原稿を覚えていたが、あまりうまく発表できなかった。他のゼミの発表がどれも面白そうで、3つの班の発表しか聞けないことが少し残念だった。教授の方々の質問やアドバイスはどれも的確で参考になった。(2年)
- 今回のポスター発表では、他の班の発表を聞いて、視野が広がった。他の班の発表から学んだ論理の組み立て方や新たな視点を今後の課題研究に活かしていきたい。(2年)



編集後記

今回のポスター発表会を通して、聴衆からの質問や先生方からの講評などにより、それぞれの班の課題が明確になったと思うので、次の口頭発表までにもっと研究を深め、より完成度の高い発表を目指したい。また、他のゼミの発表を聞く初めての機会だったので、とても刺激になったと思う。

第3回国際交流行事 第2回オーストラリア・グリフィス大学オンライン授業参加報告

延期されていたオーストラリア・グリフィス大学のオンライン授業(東京都立多摩科学技術高等学校主催)が10月30日(土)14時~16時に行われました。本校からは4名が学校や家庭から参加しました。講師は前回と同じ Dr. Francesco Olivieri 先生、演題は”Open Problems in AI Nowadays”でした。最初に「AIの発達により将来なくなる可能性のある仕事はどれか」について、授業参加者が投票をしました。その後、情報とデータの違い、顔認証、強化学習、翻訳、今後のAIの発展予想等について講義を聴きました。最後に、最初と同様に、将来なくなる可能性のある仕事についての投票をし、講義の前後で参加者の考えがどのように変わったかを見ました。

【参加した生徒の感想】

- どれほどのリスクやデメリットがあっても、将来はAIの時代となるということがよく想像できた。将来AIに奪われてしまう可能性のある職ではなく、私たちだからこそできる分野に進むことが大事だと改めてわかった。これからの世の中がAIのおかげで便利になることは分かったが、少し怖くも感じた。(3年)
- AIの技術が発展し、音声認識も一般的になっているにも関わらず、翻訳機がない理由に深く納得しました。文脈を正確に読み取ったり、冗談を理解したりするには、話し手の声色や表情、相手との関係も分かっているわけではなく、開発する側の人間も間違えることもあるので、実現するのは非常に難しいだろうと思いました。講義の途中で2回あった投票で、結果が大きく変わったものがあったのが面白かったです。(2年)
- AIは人の感情などを持つことは難しいので、今回の授業を通して、AIが持つべき役割と人間が持つべき役割をそれぞれ考えていかなければならないと思った。(1年)

